

# 全国的に注目

# 山中竹春

号外 新型

コロナとたたかおう 専門家!

にも

有効

が



やまなかたけはる 前横浜市大医学部教授

今年5月、横浜  
 市立大学医学部教授山中  
 竹春さんたちの研究グ  
 ループは、新型コロナウイルス  
 ルスワクチン接種者の約  
 9割の人に、流行している  
 変異株に対する「中和抗  
 体を保有すること」を明ら  
 かにしました。

「新型コロナウイルスと  
 のたたかいは、科学的な  
 データに基づく正しい知  
 識が不可欠です。専門家の  
 意見を尊重せず、政治的な  
 思惑を優先しては、コ  
 ロナ禍を乗り越えること  
 はできません。」

危機に向き  
 合う行政では、  
 専門家の判断  
 に耳を傾け、  
 風通しの良い  
 チームで検討を重ね、  
 科学的に明確な事実をも  
 とに政策を創っていく。今  
 行政には、そうしたチーム  
 を率いるリーダーが必要  
 です。」



小学生のパパ

■ 緑豊かな環境で育ち、高校時代はラグビーに全力投球。早稲田大学進学後、経済を学ぶ中で、現場から出てくるデータそのものに関心を持ち、さらに、そうしたデータをもとに意思決定する「データサイエンス」に興味を抱きました。

■ データの背景には、一人ひとりの人間がいて、現場があります。データを使って、皆さんに本当に必要な政策を選び出し、社会が抱える課題を解決していく。こういう手法を行政にも取り入れることで、市民ひとりひとりの思いに応えられると考えています。

■ 早稲田大学政治経済学部 卒業 / 早稲田大学大学院理工学研究科 修了 / アメリカ国立衛生研究所 (NIH) 研究員 / 国立がん研究センター 部長 / 横浜市立大学 医学部教授 学長補佐 特命副学長 横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 研究科長などを歴任

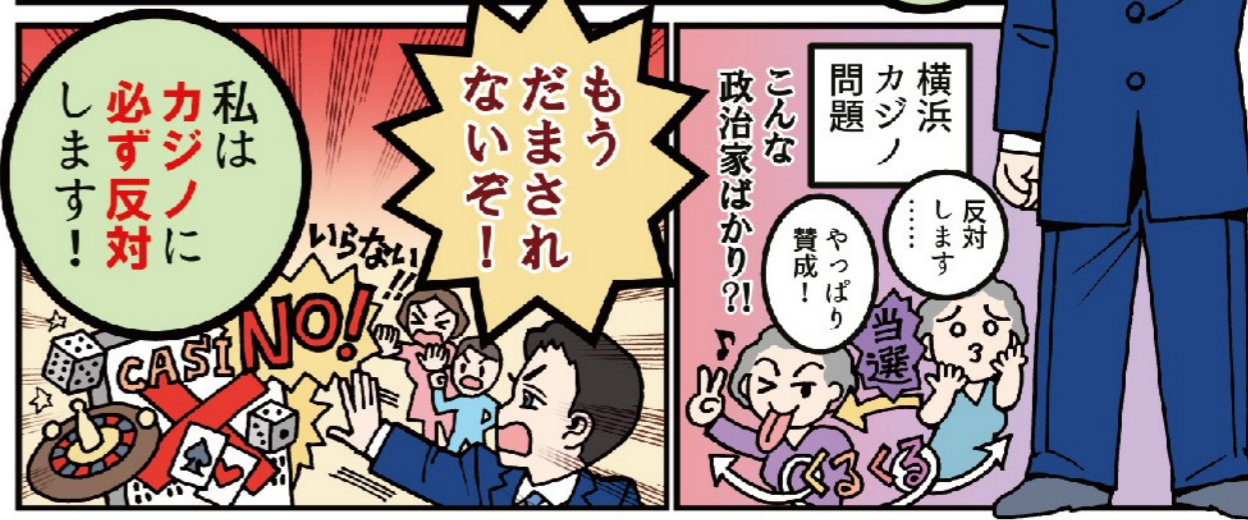
カジノ反対市民団体も応援!  
 20万人の署名を力に!

やまなかたけはる  
 山中竹春

早稲田大学政治経済学部卒業  
 前 横浜市立大学医学部教授 特命副学長 大学院データサイエンス研究科長  
 元 国立がん研究センター部長



市民に誠実、  
 データに正直、  
 山中竹春です。





# 1 コロナ対策はデータに基づき一人ひとりに寄り添った施策を!

## 1 政令指定都市トップレベルのスピードでワクチン接種を推進

- データに基づくワクチン接種戦略の実施
- 多様なライフスタイルに合わせた24時間体制の接種体制の整備
- 在宅療養者向けの巡回接種
- ワクチン接種に関する市民へのデータ開示の徹底
- 治療薬の開発支援

## 2 検査の抜本的拡充

- 「いつでもどこでも」PCR検査/抗原検査重点拠点の設置
- 高齢者施設、病院、学校、保育園等への集中検査
- 下水道検査による感染集積地の特定と徹底検査・隔離

## 3 病床・医療人材の確保、経営支援

- 特に重症者用の感染病床数の確保
- 在宅療養者のモニタリング体制の構築
- コロナ患者受入れ医療機関への経営支援

## 4 困窮事業者・世帯・個人への迅速かつ十分な支援

## 5 横浜港の水際対策の徹底

# 3 「健康長寿」で、長生きして良かったと言える街に!

横浜市の高齢化率は約25%と、4人に1人が高齢者です。横浜市の発展を支えて下さった皆様が、安心して年を重ねて、健康に長生きできることを支えています。医療・介護の充実はもちろん、生活の足を支え、就労を支え、「自分らしさ」を失わない街にしていきたいです。

- 1 介護職員の待遇改善
- 2 在宅医療・介護の充実
- 3 認知症対策、生活習慣病対策
- 4 二人主治医制(循環器病/糖尿病等)
- 5 元気あふれるシニアの就労機会の創出
- 6 買い物などの交通課題を解消するため地域交通を充実

## 5 SDGsを重視した経済・産業の振興を!

日本最大の都市として、地球環境を守り、持続可能な市政運営を行うのは当然の責務です。温室効果ガス削減の取組を推進し、公民連携で持続可能な横浜市を築いていきます。

- 1 再生可能エネルギー等の普及促進
- 2 地域経済の活性化に向けたデジタル化の推進
- 3 SDGsの達成に貢献するベンチャー企業の誘致・起業育成
- 4 デジタル技術の活用などにより港湾機能の更なる発展
- 5 脱炭素社会にむけて温室効果ガス削減の取組みを加速

## 7 市民参加、住民自治、デジタル化の推進!

市政に欠かせないのは、市民と市長・市役所との信頼関係です。市民の皆様の声や、市政に活かす。その「当たり前」から、もう一度市政を見直していきます。

- 1 デジタル技術の活用等で市民の声を直接聞く仕組みを創設
- 2 行政データのオープン化の徹底と透明性の担保
- 3 自治会、民生委員・児童委員、青少年指導員、スポーツ推進員等の支援を強化
- 4 行政のDX化による市民サービスの向上
- 5 高齢者にもやさしいデジタルサービス

# 私たちが考える横浜の未来



## 2 子どもを産み育てたいと思う街に!

働きたい時はいつでも働けて、息抜きしたい時はいつでも子どもを預けられる。子育てに「心のゆとり」を持てるようにします。子どもと過ごす、安全に遊ばせる場所をつくります。泣いている子どもが居たら地域の皆で支える、そんな街にします。子どもにハンディーがあっても、個性的でも、笑顔で過ごせる環境をつくります。子どもが中学生になったら生徒みんなで給食を食べられるようにします。

- 1 出産、不妊・不育治療への支援の強化
- 2 待機児童の解消、第2子以降の保育料の負担軽減
- 3 子どものかかりつけ医制度の創設
- 4 中学校給食の全員喫食化と、給食費負担軽減
- 5 中学卒業まで所得制限なく医療費を補助

## 4 日本一の教育都市・横浜を目指す!

学力格差が生じないよう公教育の質を上げます。英語教育に一層力を入れ、「文理融合」の教育改革や、一人ひとりの習熟度に合わせた教育環境を整えます。

- 1 習熟度向上のために学習データの活用
- 2 英語教育の拡充
- 3 デジタル・AI時代を見据えた教育の充実
- 4 いじめ防止策の拡充
- 5 生活困難世帯への学習・就学支援の拡充により教育格差の解消
- 6 コロナ禍で困窮する世帯・大学生に奨学金制度創設

## 6 真に女性が活躍できる街、横浜に!

女性の社会進出を支援します。一方、母子家庭は父子家庭より貧困率が高いなど問題があります。性別を問わず、就労機会や所得に差がない、ジェンダー平等な社会を実現します。

- 1 市政への女性の積極登用
- 2 中小企業への雇用促進
- 3 パパの育児休暇取得率の向上、家事・育児促進事業
- 4 ひとり親、一人暮らし等の困窮家庭への支援
- 5 DV対策と被害者支援の拡充

## 8 誰もが生き活きと暮らせる街に!

- 1 障害のある方の就労環境の向上
- 2 児童虐待防止策の強化
- 3 DV対策の充実
- 4 ペット殺処分ゼロ
- 5 多文化共生を一層推進するための施策の充実

## 9 防災・減災、安心して暮らせる街

- 1 豪雨災害などの対策のため、盛土の調査点検や崖地対策の速やかな実施
- 2 地域事情に合わせた災害対策の強化
- 3 震災、風水害の発生に備え、公助の強化と、自助共助の取組支援を強化

## 10 郊外活性化等で暮らしやすい街づくりを!

- 1 市内郊外部の再生
- 2 空き家活用推進
- 3 商店街の活性化支援
- 4 横浜の歴史・文化を活かした「魅せる街」づくり
- 5 受動喫煙防止対策、喫煙禁止地区の拡大・普及

## 11 次世代に負担を押しつけない財政運営

- 1 現職市長が進める「新たな劇場整備(パレエ・オペラ劇場)」(615億円の税金投入)の中止
- 2 公有資産の積極的公開による貸付
- 3 データ活用による事業評価により、無駄な事業から撤退

# カジノよりコロナ!

横浜にカジノ(バクチ)は不要です。依存症患者が飛躍的に増え、治安や風紀も乱れ、子どもの教育上も極めて良くありません。一旦、依存症になれば、借金を重ねて自己破産。家庭内暴力、一家離散、自殺というケースも後を絶ちません。シカゴ大学の調査では、カジノから約80km圏内(横浜にカジノ設置なら関東一円の依存症は2倍になると報告されています)。

て外国人客は来ません。中国の富裕層くらいですが、カジノをしないなら中国語が通じるマカオか、近場の韓国に行くでしょう。林文字市長は、約7割の市民が反対している「カジノ誘致」を、一昨年度、市民の意見も聞かず、一方的に表明しました。前回市長選時には「白紙」として

「市民の真摯な思い」が表明された。誘致の是非を住民投票で問う署名活動でも、20万筆弱も

が表明された。林文字市長は「意義がない」と切って捨てました。断じて許されません。

「私、山中竹春は、こんな横浜市を変えます。まず、横浜市民を、コロナとカジノから守ることから始めます。そして、開港から160年を超えた横浜市を、更に魅力ある都市として将来に引き継ぎ、住みたい街に企業から選ばれる街にします。」

弊害が多く、市民の多くが反対するカジノを、費用対効果の分析もなく、推進する林文字市長。コロナ禍からなるとしても市民を守ろうという積極的な行動に出ない市長。これでは、横浜市の将来はありませぬ。危機感を抱く山中竹春さんは語り

「私、山中竹春は、こんな横浜市を変えます。まず、横浜市民を、コロナとカジノから守ることから始めます。そして、開港から160年を超えた横浜市を、更に魅力ある都市として将来に引き継ぎ、住みたい街に企業から選ばれる街にします。」

山中さんに期待しています



横浜をコロナとカジノから守る会 代表 横浜港ハーバーリゾート協会 会長 藤木幸夫  
私は、カジノは「身命を賭して阻止する!」と言い続けてきました。開港以来、横浜の歴史が詰まっている山下ふ頭を「バクチ場」にしたくない! その一心からです。山中竹春さんは私のその思いを、一番、理解している方です。彼の活動を全力で応援したいと思います。



カジノ反対の市長を誕生させる横浜市民の会 代表世話人 岡田 尚(弁護士)  
私たちは、「カジノの是非は市民に決めさせる」との願いをもって住民投票運動に取組んだ。今、ほとんどの人が「カジノ反対」と言うようになった。市民の力が横浜を変えつつある。もう一息だ。カジノ誘致反対、すぐに撤回と宣言している山中竹春さんこそ本物だ。

山中竹春さんの活動はこちら!

